

愛知県鉱工業指数
平成 22 年（2010 年）基準改定の概要

平成 25 年 12 月 26 日
愛知県県民生活部統計課
生産動態統計グループ

1. 改定の趣旨

鉱工業指数については、「指数の基準時に関する統計基準」（平成 22 年 3 月統計基準設定）において「指数の基準時は、5 年ごとに更新することとし、西暦の年数の末尾が 0 又は 5 である年とする」（平成 22 年 3 月統計基準設定）とされていることから、現行の基準時である平成 17 年（2005 年）から 5 年後の平成 22 年（2010 年）を新たな基準時とし、ウエイトや採用品目について見直しを行った。

2. 改定の対象とした指数

平成 22 年基準へ改定を行った指数は、以下の 4 系列である。

- ① 生産指数（付加価値額ウエイト）
- ② 出荷指数
- ③ 在庫指数
- ④ 在庫率指数

3. 改定の主な内容

（1）基準時及びウエイト算定年次の変更

指数の基準時及びウエイト算定年次を、平成 17 年（2005 年）から平成 22 年（2010 年）へ変更した。指数値は、平成 22 年の平均を 100.0 とした比率で示される。

（2）業種分類の一部変更（資料 1）

平成 22 年基準指数の業種分類は、原則として日本標準産業分類（第 12 回改定）（平成 21 年 3 月統計基準設定）に準拠した。

具体的には、旧「一般機械工業」を「はん用機械工業」、「生産用機械工業」及び「業務用機械工業」に分割し、また、旧「精密機械工業」を「業務用機械工業」に統合した。

(3) 採用品目の見直し (資料2)

生産・出荷・在庫・在庫率指数の採用品目は、主に経済産業省生産動態統計から選定した。

採用品目数の新旧比較

指数の種類	平成 22 年 基準	平成 17 年 基準	増減数	増減数	
				新規	廃止
生産指数	332	338	▲6	12	18
出荷指数	331	337	▲6	12	18
在庫指数	223	232	▲9	6	15
在庫率指数	216	225	▲9	6	15

(4) ウェイトの見直し (資料3)

業種別のウェイトは、製造工業については工業統計、鉱業については経済センサスー活動調査を基礎データとして、指数の業種分類・概念に適合するよう組替えを行った上で算定した。

また、品目別のウェイトは、工業統計のほか経済産業省生産動態統計や各種業界統計などにより単価・金額等を推計し、業種別のウェイトを採用品目の金額構成比により按分した。

生産・出荷・在庫等、各種指数におけるウェイトが変化した主な業種は、以下のとおり。

指数の種類	ウェイト上昇業種	ウェイト低下業種
生産指数 (付加価値額ウェイト)	プラスチック製品工業(463.2 → 697.5) 化学工業 (267.9 → 430.9) 輸送機械工業 (4,549.8 → 4,759.4)	はん用・生産用・業務用機械工業 (1,240.6 → 975.9) 電子部品・デバイス工業(262.1→49.1) 金属製品工業 (352.7 → 229.7)
出荷指数	輸送機械工業 (4,908.5 → 5,319.8) 鉄鋼業 (603.6 → 712.3) プラスチック製品工業(400.6 → 508.0)	はん用・生産用・業務用機械工業 (1,015.8 → 728.3) 電子部品・デバイス工業(191.7→51.1) 電気機械工業(483.0→ 348.4)
在庫指数	輸送機械工業 (1,643.5 → 2,510.3) 鉄鋼業 (1,675.6 → 2,017.7) プラスチック製品工業 (703.8 → 797.3)	はん用・生産用・業務用機械工業(1,195.9 → 866.4) 食料品工業(527.1→201.9) 情報通信機械工業(494.3→249.3)

注：はん用・生産用・業務用機械工業の平成 17 年基準のウェイトは、一般機械工業と精密機械工業とを加算した。